

大分教育事務所訪問 27

## 大分市立坂ノ市小学校から学ぶ

学校の教育目標「個性豊かで、創造の意欲あふれる実践力のある児童 ～めあてをもち、よく考えて実行し、最後までがんばる子」を育成するために、目指す子ども像を「助け合う子（共生）、学び合う子（感性）、きたえ合う子（自立）」として、それぞれの3部会を中心に組織的に取り組んでいます。

### 学校経営から学ぶ

福島校長先生の願いである「自らすすんで取り組む子ども」について、2人の教頭先生と主幹教諭、指導教諭が毎週「運営会議」を行い、まずは管理職等が学校の教育課題を明確にし、何のために行うのかという理念を共有しています。その後、隔週行う企画会議において、その理念を伝え、具体的な取組について提案させています。児童数895名の大規模校にあっては、このように最上位の目標（目的）を明確にして、手段については各部会に任せることで、主任の良さを伸ばしながらも組織的な取組となるのでしょう。

今後は、学校経営計画表にあるそれぞれの「取組項目」は、子ども達にどのような「資質・能力（3本柱）」を育成しているのかを明確にすることで、「学校経営の重点（目標項目）」や、目指す子ども像に近づいていくことでしよう。

### 授業から学ぶ

全31学級の授業を参観させていただきました。どの教室からも学びに向かう姿や笑顔が見られ、安心な環境の中で学び合っていました。

今後は、授業の終末の「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「めあて」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思いました。



NO.136 2021年6月 大分市立坂ノ市小学校

## 助け合う子

拍手には、すごい!がんばったね!同じだね!等のメッセージがある。



NO.135 2021年6月 大分市立坂ノ市小学校

## 学び合う子

相手の考えと比べることで、共通点や違いがわかる。そして、共に成長する。



NO.134 2021年6月 大分市立坂ノ市小学校

## きたえ合う子

競い合い、学び合うから共に成長するのだ。



NO.133 2021年6月 大分市立坂ノ市小学校

## 目線を合わせる

目線を合わせると、子どもの気持ちがよくわかる。



NO.137 2021年6月 大分市立坂ノ市小学校

## 図書室は宝の山

もっと知りたい。みんなにわかるように説明したい。そんな思いに応えます。